

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|--------------------------|--|
| 実習企業・機関 | 株式会社 庄交コーポレーション 航空事業部 |
| 実習期間 | 平成30年2月20日（火）～ 平成30年2月24日（土） |
| 学生氏名 | 佐藤 知紅 |
| 実習プログラム | 1日目 ・制限区域エリア見学、到着・出発ゲート業務見学、保安・危険物説明、アナウンス体験、手荷物梱包体験、日誌 2日目 ・手荷物受託業務、到着業務、アナウンス、出発業務、セノン見学、フリータイム、ロビーサービス体験、日誌 3日目 ・運送課見学、プッシュバック常務体験、プレゼン聴講、AS・定時制委員会説明、国際線説明、フリータイム、機内見学、日誌 4日目 ・運行課見学、機内見学、フリータイム、スキルコンテストDVD鑑賞、制服体験、ロビーサービス、到着業務、出発ゲート業務、日誌 5日目 ・発表準備、大学での学び発表、フリータイム、ユニバーサルデザイン説明、機内・コクピット見学、出発ゲート業務、ランディング見学、日誌 |
| 学び・気づき (300字程度) | 航空事業部では旅客課、運送課、運行課と3つの部署に分かれていて、それぞれ安全な就航を行うために日々心がけているとわかりました。すべての課で「安心・安全」をモットーとし、お客様第一という考えのもと業務を行っていました。空港の中で安全を保つために制限されている区域もあり、そこに入るためには空港のスタッフでも毎回保安検査を受けなければいけないことに驚きました。それだけ徹底していないともしかしたら不審者や不審物が紛れ込んでいるかもしれないという危険性があり、最悪の場合一度お客様を外に出してもう一度保安検査を受けてもらうことになることになると聞き、お客様の安全さらに自分達自身の安全を常に守らなければいけないとわかりました。 |
| 今後に向けた 抱負 (200字程度) | 今回課題に挙げていたコミュニケーション力と主体性の向上はあまりできなかったと考えています。スタッフの方から話しかけてもらうことが多く、私から会話をする積極性が少なかったと感じます。今後就職活動が始まるため、情報収集や説明会など周りを見て動くのではなく自分が主体的に取り組んでいきたいです。 |

インターンシ
ップをして気づ
いた、実習先の魅力
(300字)

旅客課をはじめ、運送課、運行課と様々な部署を見ることができましたが、どれも会話が常に途絶えず明るい印象であったことが印象に残っています。各課全体のミーティングが一日に数回あり、小さな気づきでも全員で共有して安心・安全を心がけていました。また、一つの仕事に対する責任の重みと空港で働くみなさんが膨大な知識量を持っていることに驚きました。運行課の見学の際に「日々勉強している」ということをお話しされていて学ぶことが絶えない業種だと思いました。



写真 (1~3点)



大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|---------|--|
| 実習企業・機関 | 株式会社庄交コーポレーション航空事業部 |
| 実習期間 | 平成29年7月24日 ～ 平成29年7月28日 |
| 学生氏名 | 稲田唯 |
| 実習プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ● 7月24日 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、F396見学 ・全体朝礼 ・保安・危険物 ・F398見学、ARV業務、GATEHELP ・昼礼 ・身だしなみ、接遇 ● 7月25日 <ul style="list-style-type: none"> ・運送課見学 ・アナウンス ・手荷物梱包、ヘルプ体験、 ・もぎり、アナウンス、BAG ● 7月26日 <ul style="list-style-type: none"> ・F398 STC見学、車輦見学 ・制服着用、CKI体験 ・日誌記入、発表準備 ・F400 L/S ● 7月27日 <ul style="list-style-type: none"> ・F398 ゲート見学 ・SENON見学 ・バリアフリー体験 ・F400 CTR、BAG見学 ● 7月28日 <ul style="list-style-type: none"> ・機内見学 ・チャーター ・発表準備 ・昼礼 ・発表 |

| | |
|--|---|
| <p>学び・気づき (300字程度)</p> | <p>今まで利用する側の目線でしか空港の仕事を見たことがなかったため、飛行機はほぼグランドスタッフだけで飛行機を安全に就航させているのかと思っていた。しかし空港には他にも保安、ステーションといった部署があり、そのような部署の無線を通して、あるいは直接連絡をし合い、飛行機を就航させた。その姿を拝見して、社員全員の目的は「飛行機を安全に就航させる」という目的のため、1人1人の責任の重大さ、各部署との連携がとても重要であるのだと思う。どの仕事よりもそのような点で空港は、相手の気持ちを考えることが大切なことなのだ実感した。誠実に仕事にあたる大変さ、大切さを実感することができたし、大変な仕事だからこそ「やってよかった」と実感できる仕事こそが、就職先を選ぶ際の大切な条件になると思った。</p> |
| <p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p> | <p>言われたことはきちんとやることはできたが、その中でも自分なりにもっといい工夫はないかと考えることができなかった。特に館内アナウンスは話す内容が決まっているが、アナウンスする一人ひとりの言葉が違う部分があった。それを見て、自分なりにお客様が聞き取りやすいアナウンスができるのだと分かった。ただマニュアル通りに実行するだけでなく、そのマニュアルをもとにどうすればより良いマニュアルになるのかを自分なりに考えることも大切だ。</p> |
| <p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p> | <p>お客様に対する言葉遣いや空港でのおもてなしについて学ぶことができた。お客様対してはもちろんしっかりとした言葉遣いだが、社員の間でも丁寧な言葉遣いで接していたため、常に言葉遣いには意識を高く持っているのだと感じた。空港でのおもてなしは、ただお客様を機内にご案内するだけでなく、車イスや障害を持っているお客様を安全にご案内するために、お客様とのコミュニケーションがとても大切であるだと気付いた。最終日でのチャーター便ではたくさんの手荷物を運び、グランドスタッフの仕事は力仕事も大切な仕事なのだと思ったし、このような仕事は達成感を得られる仕事だと感じた。そして空港業務には専門用語がたくさんあり、話についていけない時があったがわからないことはメモを取り、質問しながら対応した。そのため、専門用語を覚えるためにどの仕事でも就職してから勉強することが大切なのだと感じた。</p> |
| <p>写真 (1~3点)</p> | <p>7月26日の車輛見学の際に見学した、F398便。飛行機を間近で拝見させていただいた。</p>  <p>7月26日のCKI体験。制服を着用して体験させていただいた。</p>  |

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

| | |
|--------------------|--|
| 実習企業・機関 | 株式会社 庄交コーポレーション |
| 実習期間 | 平成 29年 3月 13日 ~ 平成 29年 3月 17日 |
| 学生氏名 | 五十嵐彩 |
| 実習プログラム | <p><実習日程></p> <p>3月13日（月）オリエンテーション出発便見学、全体朝礼、保安・危険物説明、398便到着見学、休憩（1H）、身だしなみ・接客説明、日誌</p> <p>3月14日（火）カウンター見学、全体朝礼、手荷物梱包説明、休憩（1H）、手荷物梱包ヘルプ、昼礼、制服着用体験、日誌</p> <p>3月15日（水）396便機内見学、全体朝礼、アナウンス練習、休憩（1H）、395便・398便到着業務、出発業務、昼礼、表彰～委員会活動紹介、日誌</p> <p>3月16日（木）398便運送課手荷物搭載・車輦見学、休憩（1H）、搭乗手続き体験、SENON見学、整備見学、運航課見学、日誌</p> <p>3月17日（金）カウンター見学、CAさんから業務説明、398便ロビーサービス、休憩（1H）、ディスカッション、バリアフリー体験、F397・F400GATE見学、日誌</p> |
| 学び・気づき (300字程度) | <p>初日は自己紹介や挨拶など緊張する場面が多々あったが、旅客課の皆様をはじめ、運航課、運送課の皆様の温かい笑顔のおかげで、安心した気持ちで学ぶことができた。「身だしなみ・接客」を学ぶ際に教えて頂いた「笑顔で接客することで、お客様に安心感を与える。」という点を、自分の肌で感じる事ができた。</p> <p>3日目では、私が体験してみたかった「アナウンス」を練習し実際に行うことができた。アナウンスの定義として、アナウンスはお客様に必要な情報をタイムリーに提供する手段であり、ANAグループの品質を印象づける重要な「商品」であるということを教えて頂いた。練習段階でアナウンスの見本として、旅客課のスタッフの方のアナウンスを聞くことができた。「声」自体に安心感があり、聞いていて心地よい「声」だと思った。発音も綺麗で、間の取り方も自然でとてもなめらかだった。アナウンスは安心感だけではなく、わかりやすさやタイミングがとても重要であることがわかった。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p> | <p>私はいつも失敗を恐れてしまい、自分から発信することから逃げてしまうことがあるので、失敗を恐れずに自分に自信を持つことが課題だと思った。</p> <p>今後、大学卒業後の仕事が接客業になった際は、お客様の気持ちに寄り添い、快適に利用して頂くためにはどうしたら良いのかを常に考えながら仕事したいと思った。すぐに生かせる部分は、現在している服飾小売のアルバイトで生かしていきたいと思った。</p> |
| <p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p> | <p>私が今まで空港に抱いていたイメージのはるか上の「安全性」というものを、皆様が日頃から意識して働いていることを知り、とても驚いた。華やかなイメージの強い空港での仕事であるが、その裏側には膨大な知識が必要であり、その知識を持っている皆様だからこそその「華やか」であり、「かっこ良さ」であり、この職業の魅力であるということに気付くことができた。</p> |
| <p>写真 (1～3点)</p> |  |